

在シドニー総領事通信

第 51 回 日豪ビジネスと文化交流の相乗効果

令和 3 年（2021 年）11 月 1 日

コロナ規制の緩和が更に一步進みました。今日（11 月 1 日）から、ワクチン完全接種済の豪州人・永住者とのその家族は出入国が許可不要になり、NSW 州ではワクチン完全接種済の入国者の隔離措置が撤廃されました。更に、シドニー大都市圏と NSW 州地方部の間を自由に行き来できるようになりました。NSW 州内のコロナワクチン完全接種率は既に 87.7%、1 回目接種率は 93.6%に達しています。

コロナ後は、日豪間の協力や交流が加速する予感がしています。コロナ対応で、オンライン会議が一気に普及しました。先月、日本と NSW 州のビジネスを推進する官民主要組織の関係者が初めてオンラインで会合を開催しました。また、豪日経済委員会（AJBCC）と JETRO が連携してのウェビナー開催も軌道に乗っています。更に、今月からは豪州内で各種の対面会合が再開し、来年には日豪間の往来も本格的に始まるので、オンライン会議との相乗効果が期待できるでしょう。

文化行事も同じです。先月のロックダウン解除で国際交流基金シドニー日本文化センターが再開し、日本スポーツポスター展が始まりました。昨年オンラインに移行した恒例の日本映画祭も、今年は映画館で上映されます。デジタル化が進む社会で、対面ならではの良さを改めて実感しています。

そして、ビジネスと文化交流は、相乗効果があります。日豪とも豊かな社会だからこそ、食・芸術・スポーツなど様々な文化がそれ自体ビジネスになり、また相互理解と信頼を深める機会となることを通じてビジネスを一層促進します。

ビジネスと文化交流は切り離せません。今回の総領事通信では、コロナ後に向けての日豪ビジネスの最新動向と対面での文化行事の再開についてご紹介しながら、両者の相乗効果を如何に現実化していくかを皆様と一緒に考えたいと思います。



日 NSW 州ビジネス官民会合（2021 年 10 月 20 日）

●日 NSW 州ビジネス官民会合

10 月 20 日、日本と NSW 州のビジネスを推進する官民主要組織の関係者が初めてオンラインで会合を開催しました。NSW 州政府からはロバーツ・シドニー大都市圏委員会会長、ヒル西部パークランドシティ開発公社 CEO、スミス地方経済開発局長、ニューマン駐日貿易投資上級代表（調整役）、日本側からは白井シドニー商工会議所会頭、三宅 SMBC シドニー支店長、高原 JETRO シドニー事務所長、そして私（調整役）が出席し、日本企業による NSW 州への貿易・投資の機会やそれを生かすための課題と解決策について、率直な意見交換を行いました。

NSW 州政府の貿易投資担当部局とは、これまでコロナ規制が厳しい中でも電話やテレビ会議で定期的な連絡を取り合ってきました。しかし、ニューマン上級代表が就任し、シドニー大都市圏のインフラや水素、重要鉱物などビジネス機会が拡大する中で、「伝言ゲーム」ではなく関係者が一堂に会して情報や問題意識を共有し、具体的な方策を迅速に実行に移すための枠組が必要となりました。

11 月 15 日～16 日には全豪日本商工会議所連合会総会がキャンベラで、11 月 19 日には第 5 回日豪インフラネットワークング会合がシドニーで、それぞれ対面で開催される予定です。その中で今回の意見交換の成果を生かしていきたいと思っております。今後も、オンラインと対面の双方の機会を最大限に活用しながら、ハイレベルの緊密な連携と協力を進めていく考えです。



日豪サーキュラーエコノミー・ウェビナー（2021年11月10日開催予定）

●日豪サーキュラーエコノミー・ウェビナー

豪日経済委員会（AJBCC）・JETRO 共催ウェビナーの開催も軌道に乗っています。本年8月に、このウェビナーは[水素をテーマに初開催](#)され、約350名が参加する大盛況でした。10月には[日豪経済合同委員会会議](#)がオンラインで開催されましたが、東京での次回会議開催は1年先になります。

そこで、前回ウェビナーのアンケートで関心が高かったテーマを取り上げ、[第2回ウェビナー「廃棄物からの価値創造－日豪サーキュラーエコノミー（循環型経済）のビジネス機会－](#)」を11月10日（火）に開催することとなりました。豪側からスッサン・リー環境大臣が登壇するほかビクトリア州や廃油リサイクル企業の事例が紹介され、日本側は双日やアサヒ飲料がプレゼンを行う予定です。

今後もこのテーマ別ウェビナーを継続することに加え、日豪スタートアップ協力を焦点を当てた新たなウェビナーシリーズも現在計画中です。日豪ビジネスには現状への自己満足や安住（complacency）は許されず、新たなフロンティアの開拓は、豊かで恵まれた日豪両国に与えられた責務（mission）だと思いません。今後も、日豪両国の企業が力を合わせて取り組んでいくために、総領事館としても取組を深めていきたいと思えます。



日本スポーツポスター展（2021年10月22日～2022年1月22日）

●日本スポーツポスター展

ロックダウンで長い間閉鎖されていた国際交流基金シドニー日本文化センターは、図書館が10月14日（木）に、ギャラリーが10月22日（金）にそれぞれ開館しました。ギャラリーで開館と同時に始まった[日本スポーツポスター展](#)に、早速行ってきました。

1964年の東京オリンピックなど24枚のポスターを通じて、日本のグラフィックデザイナー6名がスポーツの躍動感を2次元の印刷物にどのように落とし込んでいったのか、楽しむことができました。このポスター展はシドニーが最初の開催地で、これからパリとトロントを巡回する予定です。ロックダウン明けの記念に是非ご覧ください！

ポスター展を見る機会に、[図書館](#)にも立ち寄ってみませんか？蔵書は約1万8千冊で、豪州最大の日本語書籍コレクションです。絵本など児童書も多数揃っており、郵送による貸し出しも行っています。



国際交流基金・日本映画祭 2021
(2021年10月28日～12月5日)

●日本映画祭 2021

そして、[日本映画祭](#)も始まりました。嬉しいことに、今年は映画館での開催です。主な開催地はキャンベラ、パース、ブリスベン、メルボルン、シドニーの5か所で、シドニーでは11月25日（木）から12月5日（日）まで4か所の映画館で開かれます。

この日本映画祭は、1997年に国際交流基金シドニー日本文化センターが3本の映画を無料上映したことから始まり、コロナ前には世界最大級の日本映画祭として豪州全域で3万人以上の観客を集めるまでになったものです。

昨年のオンライン開催も好評だったので、今年も11月15日（月）から21日（日）までの1週間のみ、5本の映画（ダンスウィズミー、ごん、五島のトラさん、アイネクライネナハトムジーク、舟を編む）を再度[オンラインで上映](#)します。豪州全域でどなたでも鑑賞できますので、是非お楽しみください。



Japan Expo (2021年12月17日開催予定)

●日豪ビジネスと文化交流の相乗効果に向けて

当地でビジネスと文化交流の双方を支援しているのは、両者を結び付ける相乗効果のポテンシャルです。

国際交流基金の日本ポスター展や日本映画祭も、日本企業や当地の日本関連企業がスポンサーとなって支援しています。これまで長年ダーリングハーバーで開催されてきた祭りジャパンフェスティバルも、シドニー日本商工会議所や各種企業が支援・参加してきました。日豪双方が豊かになりお互いの文化やライフスタイルへの評価が高まる中で、このような連携は更に深まっていくでしょう。

企業がビジネスを展開する上で、自社ビジネス一本やりでなく様々な文化交流と連動して活動を展開すれば、話題や出会いの場が広がり、親しみを持ってもらえるように思います。また、文化交流団体にとっても、多くの場合は資金・運営面での制約が大きいため、企業からの後押しは本当に心強いものです。

本年12月の [Japanaroo+](#) も、ビジネスと文化交流の相乗効果を体現するものです。例えば、12月17日にシドニーのタウンホールで開催予定の [Japan Expo](#) は、日本の文化・食・観光に関するブースを出展することで、日本文化を楽しんでもらいながら、日本食や訪日観光といったビジネスを推進する試みです。総領事館としても、このような取組を可能な形で応援していきたいと思っています。

私自身、これまで長年様々な仕事をする中で、部門と部門の間に価値が眠っており、それを結び付けてこそ、火花が散って価値を現実化できると感じています。当地で日本と豪州、ビジネスと文化交流を結び付けることで、双方の新たな発展を後押ししていく考えです。これを読んでいる皆様も、日々の仕事や生活の中で、日本と豪州、ビジネスと文化交流を結び付ける担い手となっただけであれば幸いです。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦

(以上)